



心身ともに実りの学期に

今年の夏は各地で最高気温を記録する猛暑の続く毎日でした。そんな中、全国的には水難事故等で尊い命が失われるといった悲しい出来事が数多くありました。幸いに本市では重大な事件や事故等もなくほっとしています。家庭や学校、地域、関係機関等が連携し、事件・事故防止にご尽力いただいたお陰だと心より感謝申し上げます。

いよいよ2学期がスタートしました。2学期は、運動会や体育大会、文化祭など多くの行事が続きます。また、読書や学習活動が充実する、まさに子ども達にとっても「実り」の季節です。一方で、夏休み中の生活の乱れから、学校生活に十分適応できずに不登校になったり、問題行動が増えたりする時期でもあります。

子ども達が心身ともに成長することを願い、地域ぐるみで声かけ活動や非行防止活動等を継続しながら、温かく見守っていきましょう。



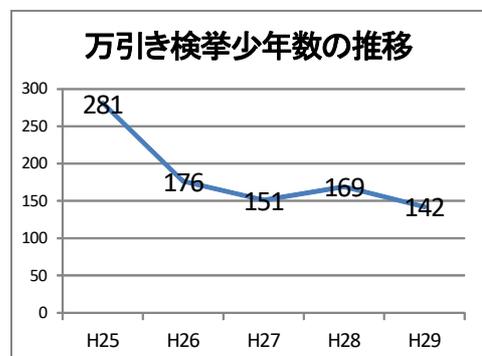
補導員・育成センターの巡回指導状況より〔6月～8月〕

- 消防分遣所付近で中学生男子1名女子1名タスキなし。過去にもタスキなし歴あり。「自分自身を守るためだから必ず着用するように！」少し強く指導した。タスキも持参していなかった。反省して帰宅した。
- 自転車で下校中の陵南中生7～8名と会ったが全員ヘルメットは着帽していた。児童クラブの広場では大勢の子ども達がサッカーなどで遊んでいて、支援員も多数いて安心安全と思われた。
- イオンゲームコーナーで小学生男児2名に同伴での入店を指導しました。これまでに何回か指導したことのある同じ男児だったのできつく指導しました。
- 隼人駅前公園を巡回中、高校生らしき男女2人が抱き合っぺベンチに座っているのを発見し、側には小学生や子供連れが遊んでいたので環境悪化から、注意したところ聞き入れ現場から立ち去った。
- JR霧島温泉駅で、電車から降りてきた高校生数人が帰宅する様子がなかったので、早めの帰宅を促しました。
- 7月14日（国分夏まつり）22時00分 正覚寺公園にて、若者5～6名グループによる打ち上げ花火や無店舗前での若者1名の寝込みあり、警察官とともに声かけをして帰宅させた。飲酒後の行動と思われる。
- 国分夏まつり2日目の夜間合同街頭補導に出席。花火が上がり、祭りの終了時刻が21時10～15分あたりだったので中高生の引きが遅かった。自転車で帰る生徒が大半だったが21時半過ぎに中央のマックスバリュー前にて車の迎えを待つ生徒も多かった。同行していた中学校の先生の声かけもあり、素直に帰宅する感じが見受けられた。

平成29年、鹿児島県内では142人の少年が万引きで検挙されています。この内、小学生が48人、中学生が37人、高校生が31人となっており、小学生の万引きが増えています。

「これくらいの小物なら・・・」「これくらいの低価格なら・・・」などという安易な気持ちが自分を非行の道へと発展させていきます。また、自分だけではない、友達もやっている、みんなと一緒にあれば怖くないという集団心理がはたらき、自分の気持ちを抑える心より、責任転嫁する心が強く作用し、正道を外れていきます。

この罪意識の希薄さが大きな問題です。学校や家庭等あらゆる場で語り込み、認識を深めていきたいものです。



【鹿児島県警「少年白書」より】

万引きは、窃盗(刑法第235条) 10年以下の懲役または50万円以下の罰金となります。商品を返してもダメ！ 見張り役も同罪です。